

目標達成計画

作成日:2023年10月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は、コロナ禍で昨年度までは書面会議であったが、今年度から対面での会議を再開している。新たに委員として家族代表や地域代表の方にも声をかけており、さらに有意義な会議にする。	運営推進委員にはグループホームや運営推進会議の役割の理解を深めてもらう。また、地域にグループホーム昭和を認知してもらう。	グループホーム昭和を地域に知ってもらうためにパンフレットを作成して近隣に配って順番に巡る。	1ヶ月
2	10	遠方の家族など、面会の頻度の少ない家族がいる。	より家族に入居者の普段の様子や暮らしぶりがわかるようにする。	法人のホームページに写真と近況を知らせるコメントを定期的に掲示して遠方の家族でも目に触れるようにしたり、希望があった時には入居者の普段の様子を撮影しアルバムにして郵送等で渡す。	1ヶ月
3	33	現在は正看護師の職員が配置されておらず、重度化した際は関連病院に搬送することとしており、入居時にその旨家族に伝えて同意を得ている。	重度化した場合の対応に家族の誤解等が生じないようにする。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、母体の病院と共に支援する。	1ヶ月
4	40	季節に応じた楽しむ機会を設ける等の取り組みがすくない。	入居者の外出も兼ねた外出レクリエーションを計画する。	グループホーム昭和が所有しているワゴン車でドライブへ行き、秋なら県庁のイチョウを見に出かけたり春なら健軍自衛隊通りの桜並木のお花見をする。	4ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。